

平成22年度購入文化財一覧

【東京国立博物館】(計4件)

- 1 ○種別 書跡  
 ○名称 一休宗純墨蹟 (いっきゅうそうじゅんぼくせき)  
 ○作者等 一休宗純(1394~1481)筆  
 ○時代 室町時代・15世紀  
 ○品質 紙本墨書  
 ○寸法等 1幅 本紙 縦27.6cm 横67.2cm  
 ○作品概要 「峯松」及び七言四句の偈を記す。



(釈文)  
 峯松  
 萬年大樹總無倫  
 葉々枚々翠色新  
 琴瑟不知誰氏曲  
 雲和天外奏陽春  
 一休子宗純老衲「一休」(朱方印)  
 『続禪林墨蹟』所収。  
 ○購入金額 31,500,000円

- 2 ○種別 刀剣  
 ○指定 重要文化財  
 ○名称 刀 (かたな)  
 ○作者等 伝当麻  
 ○時代 鎌倉時代・13世紀  
 ○品質 鉄製  
 ○寸法等 1口 刃長65.0cm 反り2.2cm  
 ○作品概要 形状 鑄造、庵棟、鑄幅広く、鑄高く、磨上げて反り浅くなり、中鋒。



地鉄 板目に柂目が交ってやや肌立ち、地沸厚くつき、地景入る。  
 刃文 直刃調の小乱刃となり、沸よくつき、砂流かかり、金筋・稲妻よく入る。  
 帽子 表は焼詰め、裏は乱れごろことなり、先掃きかける。  
 茎 大磨上、先入山形、鑢目勝手下り、目釘孔2、指表に「ゆきふかき 山もかすみてほのぼのと あけ行春の たきまちのそら 一翁」と金象嵌銘がある。  
 ○購入金額 40,000,000円

- 3 ○種別 漆工  
 ○名称 菊螺鈿鞍 (きくらでんくら)  
 ○時代 鎌倉時代・13~14世紀  
 ○品質 木製漆塗  
 ○寸法等 1背 前輪高30.5cm 後輪高30.0cm 居木長43.0cm  
 ○作品概要 前輪と後輪の外側に、海・磯と称する段差をもうけた海有鞍。前輪の両肩に一段の手形を彫る。



前輪と後輪の表面は黒漆塗として、螺鈿によって埋めつくすように菊の花枝・蜻蛉・蝶などを描いている。  
 また両輪の内側にも、螺鈿によって菊の折枝を表わす。  
 居木の上面は梨子地に仕立てられており、裏面に墨書があり、居木そのものが後補と判明する。  
 ○購入金額 200,000,000円

- 4 ○種別 漆工  
 ○名称 源氏物語蒔絵源氏筆筒 (げんじものがたりまきえげんじたんす)  
 ○時代 江戸時代・17~18世紀  
 ○品質 木製漆塗  
 ○寸法等 1基 幅42.7cm 奥行29.1cm 高33.1cm  
 ○作品概要 前面に1枚の扉をつけた儉鈍式の筆筒で、内に棚板を2枚設け、3段6個の抽斗を収める。6個の抽斗に、源氏物語の冊子を合計53冊(「行幸」巻を欠失)収めている。



表面は全体を梨子地として、扉外側と天面・側面・背面にかけて、高蒔絵と平蒔絵に金貝・切金・付描をまじえ、源氏物語の諸場面を描いている。  
 また筆筒の外側各面には、金貝と付描で表わした葵紋と梅鉢紋を散らす。  
 さらに抽斗の前面に、平蒔絵・薄肉高蒔絵に金貝・切金・付描を交え、源氏物語の諸帖を象徴する柄を描いている。  
 ○購入金額 20,000,000円